

特集1



# ち ボクン家は、グループホーム！

～障害があってもなくても、  
誰もが笑顔で暮らせる社会を目指して～



市内には、障害のある人が約5800人います。(身体障害約4400人、知的障害約900人、精神障害約500人)  
市では、障害のある人が地域で自立した生活を送ることができるよう、さまざまな障害福祉サービスを提供しています。

今回は、同サービスの一つであるグループホームについて紹介します。

松永慎一郎さん(29歳・写真中央)は、中度の知的障害があります。

平成13年から、市内の社会福祉法人(ポテト福祉会)が運営するグループホームに入居し、現在、就労しながら仲間とともに5人で暮らしています。

ホームには、家事を支援してくれる世話人さん(写真左上)がいます。

同じ建物の3階に住む人から野菜をもらったり、鍵を忘れて帰宅した時に1階のお店でしばらく待たせてもらったりと、地域の皆さんに支えられながら、楽しく暮らしています。